

令和 7 年度 第 4 回 独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター
受託研究審査委員会 会議記録の概要

開催日時：令和 7 年 7 月 24 日 15：00～15：19

開催場所：独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター 講堂(会議室 2)

出席委員名：在津 正文、佐々木 英祐、中富 克己、藤原 紳祐、園田 昌彦、末松 厚子、
鈴田 浩孝、佐野 浩史、井寺 修一、福田 貞義、光武 一行、下田 美穂子

【審議事項】

【1】継続受託研究（治験）の承認の可否について

- ① 課題名：急性非心原塞栓性虚血性脳卒中又は高リスク TIA（一過性脳虚血発作）発症後の 18 歳以上の男性又は女性を対象に経口 FXIIa 阻害薬 asundexian（BAY 2433334）の虚血性脳卒中発症抑制効果を検討する多施設共同、国際共同、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、並行群間比較、イベント主導型第 III 相試験

依頼者：バイエル薬品株式会社

治験責任医師より①の重篤な有害事象報告、安全性情報、治験に関する変更について説明があった。

審議採決の結果、治験実施に関し全会一致で以下のとおりとされた。

承認する

- ② 課題名：A randomized, double-blind, placebo-controlled, multicenter phase III study to evaluate the efficacy and safety of ABX464 once daily for induction treatment in subjects with moderately to severely active ulcerative colitis

中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、導入療法として ABX464 を 1 日 1 回投与した際の有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同、第 III 相試験

依頼者：（治験国内管理人）IQVIA サービスーズジャパン合同会社

治験責任医師より、②の安全性情報、実施状況報告について説明があった。

審議採決の結果、治験実施に関し全会一致で以下のとおりとされた。

承認する

なお、本受託研究の協力者は、審議採決には参加しなかった。

- ③ 課題名：A randomized, double-blind, multicenter phase III study to evaluate the long-term efficacy and safety of ABX464 25 mg or 50 mg once daily as a maintenance therapy in subjects with moderately to severely active ulcerative colitis.

中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、維持療法として ABX464 25 mg 又は 50 mg を 1 日 1 回投与した際の長期有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、多施設

共同、第 III 相試験

依頼者：(治験国内管理人) IQVIA サービスーズジャパン合同会社

治験責任医師より、③の安全性情報、実施状況報告について説明があった。

審議採決の結果、治験実施に関し全会一致で以下のとおりとされた。

承認する

なお、本受託研究の協力者は、審議採決には参加しなかった。

- ④ 課題名：ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による TIN816 の第 IIb 相試験

依頼者：ノバルティス ファーマ株式会社

治験責任医師より、④の安全性情報、治験に関する変更について説明があった。

審議採決の結果、治験実施に関し全会一致で以下のとおりとされた。

承認する

なお、本受託研究の責任医師、協力者は、審議採決には参加しなかった。

- ⑤ 課題名：MSD 株式会社の依頼による非小細胞肺癌を対象とした MK-2870 の第 III 相試験

依頼者：MSD 株式会社

治験責任医師より、⑤の安全性情報について説明があった。

審議採決の結果、治験実施に関し全会一致で以下のとおりとされた。

承認する

なお、本受託研究の責任医師、分担医師、協力者は、審議採決には参加しなかった。

【3】報告事項

- ① 課題名：急性非心原塞栓性虚血性脳卒中又は高リスク TIA（一過性脳虚血発作）発症後の 18 歳以上の男性又は女性を対象に経口 FXIa 阻害薬 asundexian（BAY 2433334）の虚血性脳卒中発症抑制効果を検討する多施設共同、国際共同、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、並行群間比較、イベント主導型第 III 相試験

依頼者：バイエル薬品株式会社

治験事務局より①のレターについて報告を行った。

- ② 課題名：消化管内視鏡を実施する日本人患者における CNS7056（レミマゾラム）の有効性及び安全性を評価する第 II/III 相医師主導治験

治験事務局より②の開発の中止等について報告を行った。